

肥後細川家に伝わる美術工芸品は、四季折々の風物、愛らしい動物、人物、文学モチーフなど、さまざまなデザインで溢れています。それらは、視覚的な楽しさをもたらすだけでなく、何かを暗示したり、ある願いが込められていたり、意味を持つものが少なくありません。本展では、屏風や装束、文房具を中心とした漆工品、刀装具をとおして、豊富な文様・デザインの世界をご紹介します。



唐子遊図屏風 狩野惟信筆 江戸時代後期 永青文庫所蔵(熊本県立美術館寄託)

展覧会名：大名調度を彩るデザインの世界

会 期：2019年8月31日(土)～10月9日(水)

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日：毎週月曜日 (但し9/16・23は開館し、9/17・24は休館)

会 場：永青文庫 (東京都文京区目白台1-1-1)

入 館 料：一般800円(700円)、シニア(70歳以上)600円(500円)、

大学・高校生400円、中学生以下無料

※()内は10名以上の団体料金。

障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料。

会期中のイベント <ミニスライドトーク>

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

日時：2019年9月14日(土)・21日(土) 14:00～

(各回20分程度)

会場：永青文庫 2階会議室 (開場13:45～)

定員：20名(先着順)

※申込不要、参加無料(要入館料)



昨年につき、大名美術入門PART2として大名調度や装束をデザインから読み解きます！

装束にみるデザイン

本年は永青文庫設立者(細川護立)の母・宏子が亡くなって、ちょうど100年。この節目の年に、打掛や小袖を特別展示します。



水色地燕海辺文様小袖(細川宏子所用)
江戸時代後期 熊本県立美術館所蔵 *



燕は縁結びモチーフ!!



細川宏子(明治元年撮影)
細川家所蔵 *

<細川宏子とは>

永青文庫の設立者である細川護立(1883~1970)の母・宏子(1851~1919)。嘉永4年(1851)に佐賀藩10代藩主・鍋島直正の娘として生まれ、明治元年(1868)に細川家14代・護久のもとへ嫁いできます。細川家には、宏子自筆の絵画や、興入れの際の婚礼調度、装束が多数伝わっています。

工芸品にみるデザイン

文房具などにあらわされたデザインの多様な世界をご紹介します。



橋桜九曜紋蒔絵硯箱 江戸時代中期



景物だけで
『源氏物語』の世界を表現!!



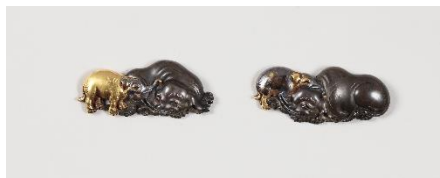
椿蒔絵詠草箱 原羊遊斎作 江戸時代後期



表は椿で裏は紅葉の
潇洒なデザイン

刀装具にみるデザイン

刀を飾る三所物など、おしゃれで小さな部分に注目します。



象図目貫 横谷宗珉作 江戸時代中期



頼政鶴退治図三所物 後藤程乗作 江戸時代前期

令和元年度 夏季展「大名調度を彩るデザインの世界」 広報画像申請書
2019年8月31日(土)～10月9日(水)

貴社名:	媒体名:
ご担当者名:	ご所属:
TEL:	FAX:
ご住所:	
E-mail:	掲載予定日: 年 月 日
掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)	

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1 「唐子遊園屏風」 狩野惟信筆
江戸時代後期 永青文庫所蔵(熊本県立美術館寄託)



2 「白地松竹梅文様打掛」(細川宏子所用)
江戸時代後期 熊本県立美術館所蔵



3 「水色地海燕辺文様小袖」(細川宏子所用)
江戸時代後期 熊本県立美術館所蔵



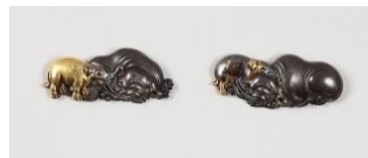
4 「橋桜九曜紋蒔絵硯箱」
江戸時代中期 永青文庫所蔵



5 「椿蒔絵詠草箱」 原羊齋所作
江戸時代後期 永青文庫所蔵



6 「頼政鶴退治図三所物」 後藤程乗作
江戸時代前期 永青文庫所蔵



7 「象図目貫」 横谷宗珉作
江戸時代中期 永青文庫所蔵

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※写真の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみ使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはございません。